

令和6年度岩手県地域包括支援センター職員職種別研修 「社会福祉士向け研修」開催要領

1 目 的

少子高齢化が進展する中で社会環境や世帯構成が変化に伴って課題が複合化・複雑化し、既存の制度では対応が難しくなっています。多様化した課題を受け止めるためには、地域住民が主体的に地域課題の解決を試みる体制づくりや、多機関の協働による包括的な支援体制の構築が必要不可欠です。ソーシャルワークの専門職である社会福祉士は、地域住民と協働しつつ多職種と連携しながら課題を抱えた個人や世帯への包括的な支援のみならず、顕在化していない課題への対応という役割を担っていくことが求められています。

本研修会は、地域包括支援センターに勤務する社会福祉士を対象として、その求められる役割を理解するとともに、複合的な課題に対応するためのアプローチ方法と社会資源を活用した課題解決の具体的手法を習得するなど制度横断的な課題へ対応するための実践力を身につけることを目的として開催します。

2 実施主体

岩手県、岩手県高齢者総合支援センター（受託運営：公益財団法人いきいき岩手支援財団）

3 日程及び会場

(1) 日 程 令和6年8月1日（木）10：00～17：00（受付9：40～）

(2) 会 場 いわて県民情報交流センター アイーナ 会議室 803（盛岡市盛岡駅西通 1-7-1）

4 内 容

別紙1「令和6年度社会福祉士研修プログラム」のとおり

5 受講対象者

原則として地域包括支援センターに勤務する社会福祉士

※ 地域包括支援センターの社会福祉士として配置予定の方や社会福祉士資格のある方の申込みも可能です。

なお、申込者が多数の場合は、社会福祉士として配置されている方を優先としますので、ご了承ください。

6 定員及び受講料

(1) 定 員 80名（先着順）

(2) 受講料 無 料

7 申込方法

当センターHP「研修申込フォーム」にて令和6年7月24日(水)までにお申込みください。受講決定は先着順とします。定員を超えた場合は、期限前に受付を終了することがありますので、ご了承ください。（右記のQRコードからもお申込みできます）



8 受講証明書について

本研修会のプログラムを全て受講した方には「受講証明書」を交付します。

9 ご連絡・お問合せ先

岩手県高齢者総合支援センター 担当：櫻田（TEL019-625-7490）

令和 6 年度 社会福祉士 研修プログラム

時間	研修内容	講師
10:00 ～ 10:45	①講義 「地域包括ケアシステムにおける社会福祉士の役割とは」 ・地域包括支援センターに勤務する社会福祉士に求められる役割について	岩手県立大学社会福祉学部 講師 本間 萌 氏
10:45 ～ 12:00	②情報交換 「地域包括支援センターの社会福祉士が抱えるジレンマについて考える～潜在的ジレンマを可視化する～」	
13:00 ～ 17:00	③講義・演習 「ソーシャルワークアセスメントスキル ～クライアントの全人的理解を目指して～」 ・ソーシャルワークアセスメントスキルについて ・アセスメントプロセスのポイント理解 ・仮説検証プロセスを用いたアセスメント演習	日本福祉大学福祉経営学部 准教授 田中 和彦 氏

講師略歴

岩手県立大学社会福祉学部 講師 本間 萌 氏

岩手県立大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程修了。地域包括支援センターの社会福祉士として勤務後、日本福祉大学福祉経営学部助教を経て 2021 年 4 月より現職。講義では、社会福祉士の育成や地域包括支援センターでの経験を活かし、人の生活や人生に関わるソーシャルワークの魅力や社会的な責任を伝えている。

著書に、『Q&A でわかる回想法ハンドブック「よい聴き手」であり続けるために』（中央法規出版・共著）ほか。

日本福祉大学福祉経営学部 准教授 田中 和彦 氏

2005 年日本福祉大学社会福祉学研修科修了。福祉マネジメント修士。精神科 PSW として勤務。愛知みずほ大学人間科学部人間科学科専任講師を経て、2012 年より日本福祉大学福祉経営学部助教として着任し、2018 年より現職。

アディクション問題に関するソーシャルワークやソーシャルワークアセスメントを研究テーマとする。著書に、「新版 社会人のための社会福祉士 ソーシャルワーカーを目指すあなたへ（2022・学文社・編著）」ほか。